

平成20年9月22日

貧酸素水塊速報 (2008年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 【協力】 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
 国立環境研究所

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成20年9月16日観測結果

貧酸素水塊は内湾底層のほぼ全域に分布しており、溶存酸素量0.5ml/L以下のほぼ無酸素水も広範囲に分布していました。(図1)。縦断ラインでは、貧酸素水塊(溶存酸素量2.5ml/L以下)が海底から5m以上の厚みで分布していました(図2)。また、貧酸素水塊の規模は前回より拡大しました(図3)。

海底付近には、まだほぼ無酸素な水塊が多く分布しています。また、湾奥では表層直下まで貧酸素水塊が上がっています(図2)。風向き次第では、干潟域へ貧酸素水塊が波及する恐れがありますので、引き続き注意が必要です。

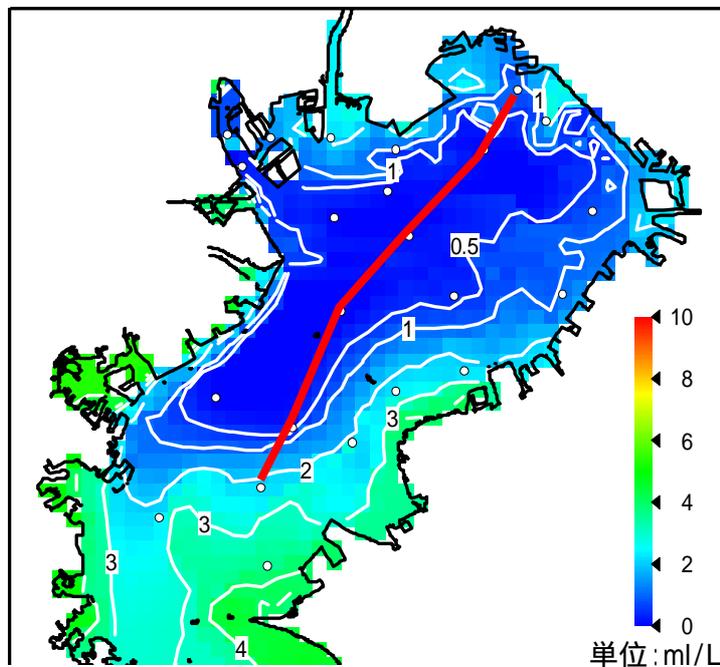


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

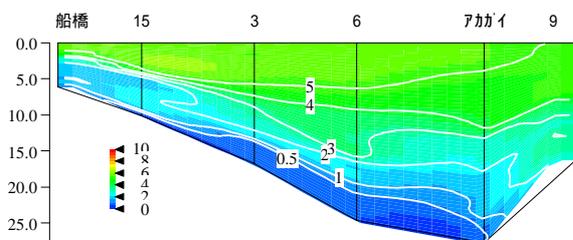


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

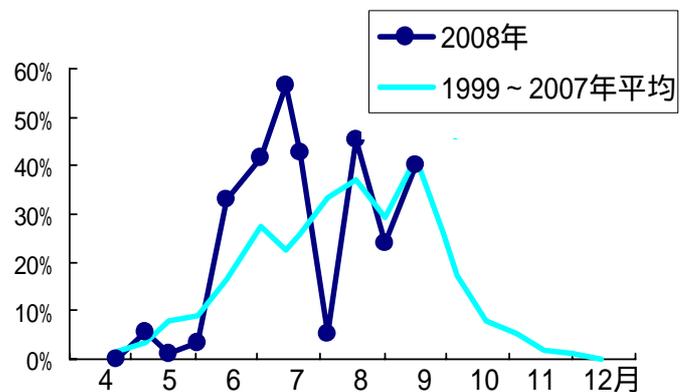


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)